

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(2024年2月分)

2024年3月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

目次(以下は主なトピックを抜粋)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●[資金洗浄防止法の採択\(16日\)](#)

●[第8回・第9回与党会合の開催\(8日、27日\)](#)

(2) エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●[カントン10政府の発足\(14日\)](#)

イ スルプスカ共和国(RS)

●[ドディックRS大統領のベラルーシ及びロシア訪問\(18日～22日\)](#)

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●[アイヒホルストEEAS欧州担当総局長のBH訪問\(6日～8日\)](#)

●[FRONTEXとの地位協定交渉の正式開始\(12日\)](#)

(2) 二国間関係

●[オブライエン米国務次官補のBH訪問\(2日\)](#)

●[ウクライナに関するベチロビッチ大統領評議会メンバーの発言等\(24日\)](#)

(3) 日・BH関係

●[サラエボ冬季オリンピック40周年記念行事\(8日～9日\)](#)

●[天皇誕生日レセプションの開催\(26日\)](#)

3. 経済

(1) 経済指標(出典: BH統計局)

(2) 経済政策・公共事業

(3) 経済協力

(4) 民間セクター

(注: この月報は、当地紙報道などの公開情報をとりまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●資金洗浄防止法の採択(16日)

16日、BH上院の臨時会合において資金洗浄防止法が全会一致で採択された。本法案はEU加盟交渉開始のため重要とされる3法案のひとつであり、サトラー当地EU大使は本件を高く評価しつつ、残る2法案(BH裁判所法、利益相反防止法)の採択も速やかに行われるよう期待する旨表明した。

●第8回・第9回与党会合の開催(8日、27日)

・第8回与党会合(8日)

8日、サラエボで国政連立与党による第8回会合が開催され、EU加盟の為の重要法案(BH裁判所法、資金洗浄防止法、利益相反防止法)及び選挙法改正に関する協議が実施された。最終的な合意には至らなかったものの、各党首は作業部会による協議に前向きな見方を示した。また、ドディックRS大統領は、BH憲法裁判所からの外国人判事の排除について、4月以降の本格的な検討を行うとし、従来述べていたような重要法案採択のための絶対条件とは位置づけないと発言。

・第9回与党会合(27日)

27日、モスタルで国政連立与党による第9回会合が開催され、EU加盟に係る重要法案のうち未採択となっているBH裁判所法及び利益相反防止法に関する協議を中心として議論。最終的な合意に至ることはできなかったが、各党首はEU加盟交渉の開始等につき楽観的な見方を示した。

(2) エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●カントン10政府の発足(14日)

2022年10月の総選挙から1年半弱が経

過し、カントン10(県都:リブノ)政府が発足した。カントン10はクロアチア系多数派地域であるが、今般発足した新政府にはクロアチア系最大政党であるHDZが入っておらず、クロアチア国民運動(HNP)、HDZ1990のほか、セルビア系最大与党SNSD、ボシュニャク系最大政党SDA、及びHDZを離党したクロアチア系の独立系議員等で構成される。これをもって、全カントンにおいて2022年の選挙を受けた新政府が発足した。

イ スルブスカ共和国(RS)

●ドディックRS大統領のベラルーシ及びロシア訪問(18日～22日)

18日～19日、ドディックRS大統領はベラルーシを訪問し、ルカシェンコ大統領、ゴロフチェンコ首相、アレイニク外相とそれぞれ会談し、経済協力、対ロシア制裁、ウクライナ情勢等につき意見を交わした。

その後の19日～22日、ドディックRS大統領はカザン(ロシア連邦の構成国であるタタールスタン共和国の首都)を訪問、同地でプーチン大統領と会談し、アレクサンドル・ネフスキー勲章を授与された。

ドディック大統領はロシアにおいて、NATOへの加盟及び対ロシア制裁に反対とする従来の立場を改めて強調。タタールスタンのムスリムと比較する形でBHのボシュニャク系が米国に盲従していると批判し、国家としてのBHの機能不全を強調した。

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●ジョアナNATO事務次長のBH訪問(1日～2日)

1日～2日、ジョアナNATO事務次長が北大西洋理事会(NAC)会合出席のためBHを訪

問し、クリシュトBH閣僚評議会議長等とともに会合に出席したほか、大統領評議会メンバー、コナコビッチ外相との会談を実施し、シュミット上級代表とともに当地NATO代表部での会合に出席した。ジョアナ事務次長は、BHの欧州・大西洋統合に向けたNATOとの協力の重要性を強調し、今後も改革に向けてBHを支援していく旨述べた。

●アイヒホルストEEAS欧州担当総局長のBH訪問(6日～8日)

6日～8日、アイヒホルスト欧州対外行動庁(EEAS)欧州担当総局長がBHを訪問し、大統領評議会メンバー、コナコビッチ外相、ドディックRS大統領と会談したほか、ブルキツCH外務副大臣とともに西バルカン・EU政務局長級会合に出席した。アイヒホルスト総局長は、BHがEU加盟交渉を開始するために果たすべき義務として「3+1」(資金洗浄法、利益相反防止法、BH裁判所法の3法案+FRONTExとの協力に向けた交渉開始)に言及した。

●FRONTExとの地位協定交渉の正規開始(12日)

8日のBH大統領評議会での決定を受け、12日にBHと欧州沿岸・国境警備機関(FRONTEx)との地位協定締結のための交渉が正式に開始された。同協定が締結されれば、BH当局の要請に応じ、FRONTExはBHの国境管理を支援するために欧州国境沿岸警備隊をBH領内に派遣することが可能となる。なお、同協定締結は、BHの欧州統合のための重要な一要素とされている。

●ミュンヘン安全保障フォーラムへのBH関係者の出席(16日～18日)

16日～18日、コムシツCH大統領評議会議長、ベチロビッチ同ボシュニャク系メンバー、クリシュトBH閣僚評議会議長、コナコビッチB

H外相、及びシュミット上級代表は、ミュンヘンで行われたミュンヘン安全保障フォーラムに出席。それぞれパネルディスカッションへの登壇、各国関係者等との会談を行った。

ベチロビッチ大統領評議会ボシュニャク系メンバーは、欧州の安全保障における不安定要因排除のため、西バルカンへのNATO拡大を進め、エネルギーの対露依存の解消等、経済の強化も進めていくべきである旨強調した。

(2)二国間関係

●オブライエン米国務次官補のBH訪問(2日)

2日、オブライエン米国務次官補(欧州担当、デイトン和平合意の締結にも関わった法律家)がBHを訪問し、大統領評議会メンバー、クリシュト閣僚評議会議長、コナコビッチ外相、シュミット上級代表等とそれぞれ会談し、改めてBHの主権及び領土一体性への支持を強調するとともに、選挙インテグリティの確保の重要性につき述べ、必要な場合のボン・パワー行使を支持する旨述べた。

また、オブライエン次官補はサラエボ大学で講演し、ドディックRS大統領、チョービツCHDZ党首の名を挙げつつ、サウス・コネクション、国有資産問題、選挙法改正といった具体的なトピックに触れながら両名を厳しく批判した。

これに対し、ドディックRS大統領は、米国がボシュニャク系の意図を受けて行動し、RSにハイブリッド戦争を仕掛けていると強く反発した。

●ウクライナに関するベチロビッチ大統領評議会メンバーの発言等(24日)

24日、ロシアのウクライナ侵攻開始から2年を迎えるにあたり、ベチロビッチBH大統領評議会ボシュニャク系メンバーは声明を発表。ウクライナの主権及び領土一体性の尊重を強調しつつ、国際場裏でロシアを非難する行動を

取るべきであると述べ、地政学的状況によりBHのEU及びNATO加盟の重要性が高まったと指摘した。

また同日、マガジノビッチBH下院議員(SDP所属、欧州評議会議員会議(PACE)BH代表団メンバー)を長とするBH議会代表団はキーウを訪問し、ステファンチュク・ウクライナ議会議長等と会談したほか、ウクライナ軍情報部によるブリーフィングに出席した。

●クリシュト閣僚評議会議長のウクライナ・南東欧首脳会合出席(28日)

28日、クリシュト閣僚評議会議長はティラナで開催されたウクライナ・南東欧首脳会合に出席し、同地でゼレンスキー大統領と会談した。クリシュト議長は、ウクライナの領土一体性を支持するとともに、主権を守るための同国の努力も支持すると述べると共に、ウクライナ戦争に関してはEUの外交政策に従うとの姿勢を強調した。

(3) 日・BH関係

●サラエボ冬季オリンピック40周年行事(8日～9日)

1984年のサラエボ冬季オリンピックから40周年となる今年、サラエボ市内において多くの記念行事が開催された。日本からは、スピードスケート代表としてサラエボ五輪に出場した、88年カルガリー五輪銅メダリストの黒岩彰氏が当地を来訪。記念行事への出席の他、カリッチ・サラエボ市長を表敬した。



●天皇誕生日レセプションの開催(26日)

26日、日本大使館による天皇誕生日レセプションがサラエボ市内のホテル・ヨーロッパで開催され、BHからはチャバラ下院議長、ボシュニャク民生大臣及びブノザ司法大臣等の政府ハイレベルが出席したほか、当地外交団代表、学術関係者、日系企業関係者、文化・スポーツ関係者等が出席。



3. 経済

(1)経済指標(出典: BH統計局)

●雇用／失業率

2023年12月の失業者登録数は34万3500人(うち女性20万672人)で、前月比で0.3%マイナス、前年同月比で3.1%マイナス。

●平均給与

2023年12月の平均給与(手取り)は1,297KMで、前年同月比で9%のプラス。

●消費者物価指数

2024年1月の消費者物価指数は前月比で0.2%のプラス。また、前年同月比で平均2.0%の上昇。食料品・ノンアルコール飲料の価格は前月比0.8%のプラス。

●貿易収支

2024年1月のBHからの輸出総額は11.7億KM(前年同期比16.6%減)、BHへの輸入総額は19.06億KM(前年同期比3.2%増)。貿易収支は7360万KMの赤字。

(2)経済政策・公共事業

●BH連邦鉄道、最高業績(8日)

BH連邦鉄道の2023年の業績は歳入1.45億KM、支出1.27億KMで1800万KMの黒字となり、過去31年で最も良好な業績を記録した。貨物部門での利益は前年比+16%。

●電気自動車及びハイブリッド車の関税引き下げ措置の延長(14日)

BH閣僚評議会は、近年のBHへの電気自動車及びハイブリッド車の輸入台数増加に鑑み、関税の一時引き下げ措置(15%→5%)を2024年末まで延長することを決定した。

統計によると、BHへの2023年1～10月の電気自動車の輸入台数は209台で、前年比+300%。また、2023年10月末時点で、BHへのハイブリッド車の輸入台数は826台、

及びプラグインハイブリッド車が58台。

(3)経済協力

●エネルギーインベスト社によるタンザニアの変電所建設(21日)

BHエネルギーインベスト社(発電、送電、変電各施設の設計、建設、運転を行う)は、タンザニア電力公社(TANESCO)の依頼に基づき、タンザニアとケニアを結ぶ約115キロの送電線及び変電所の設計・調達・建設・試運転(1億ドル相当)をターンキー(一括受注契約)で実現した。アフリカでは、その他2023年末にアルジェリアでの2箇所の変電所建設事業(約5750万ユーロ規模)も完了し、稼働開始済み。

(4)民間セクター

●BHにおける5G回線の普及遅れ(14日)

国際電気通信連合(ITU)の調査によれば、BHにおける5G回線の普及は遅れており、欧州の平均を大きく下回っている。要因としては、4G回線の導入も欧州各国に大きく遅れをとったことが挙げられ、それに伴い5G回線の商用導入にも遅れが出ているとみられる。デジタル分野での高速通信導入の遅れについては、欧州委員会の年次報告書でも指摘されている。